



住み続けるために今の生活に合わせた戸建住宅のリノベーションの好事例。玄関と応接間を一繋がり土間空間にし、外部の中庭と繋げている。生活をユカ座からイス座にすることで使い勝手を良くしている点は高く評価される。

リフォーム・リノベーション前後の写真



©絹巻豊

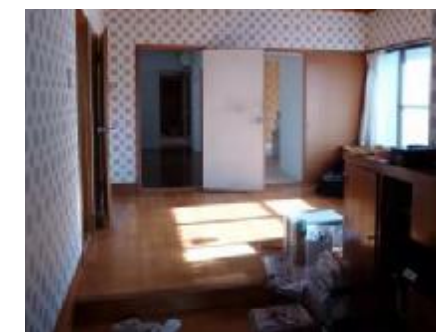
©絹巻豊

左写真 室1を見る  
右写真 台所・食事室を見る。キッチンは造作である



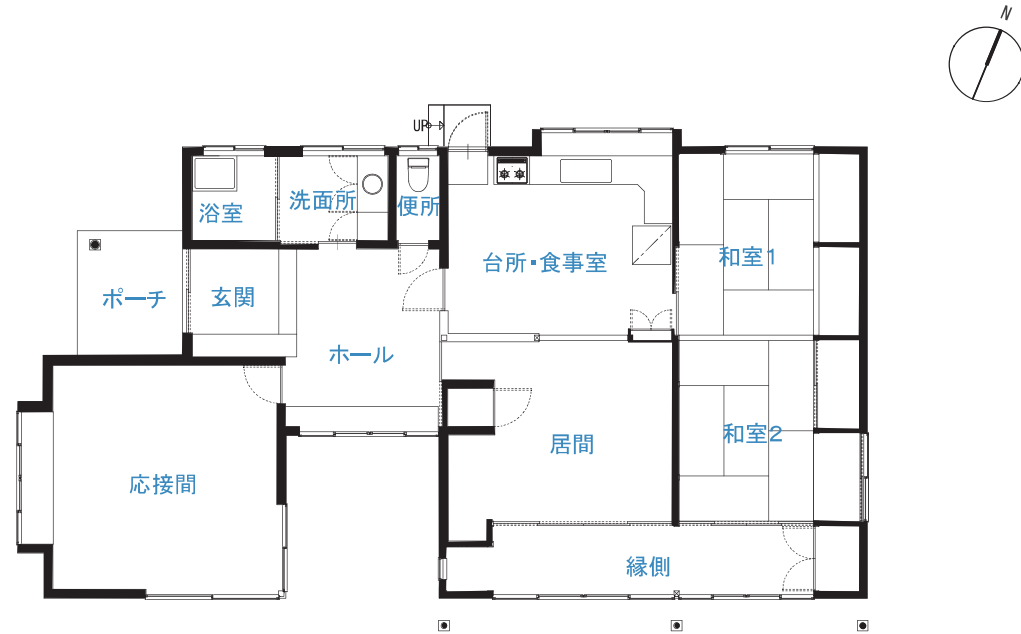
©絹巻豊

左写真 土間を見る  
上写真 食事室・家族室を見る



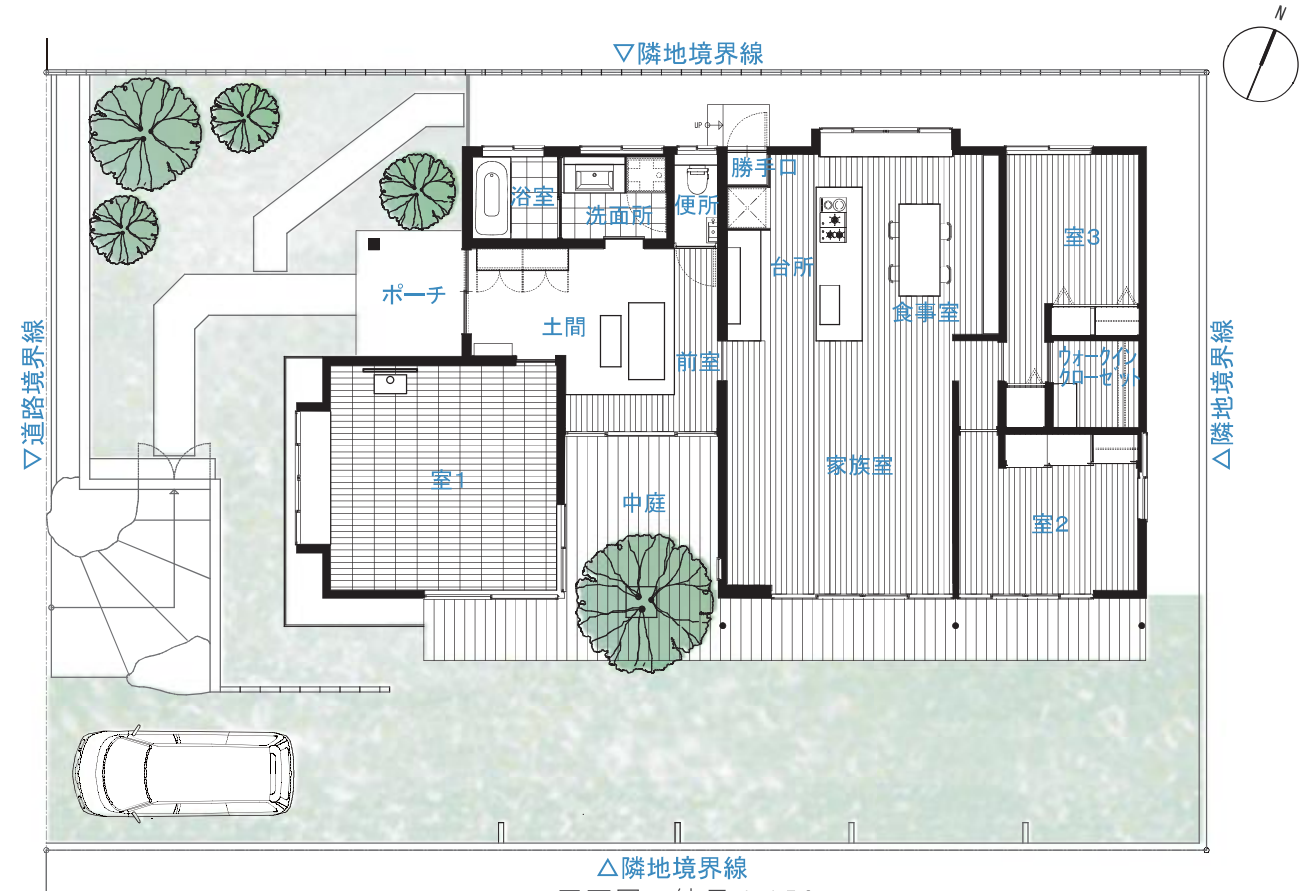
上写真 改修前の台所  
下写真 改修前のホール

リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



平面図 縮尺 1:150

リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面等）



平面図 縮尺 1:150

提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

大阪狭山市の狭山ニュータウンが出来たときに建設された平屋の木造住宅のリノベーションである。  
 外観は和風住宅で内部は当初は田の字型プランの2室を洋室に改修されていたがその部分も含めての内部を全面改修した。玄関を入ると珪藻土の三和土仕上となっており、そのまま人が集え、外部デッキとも繋がりがりのある空間となっている。土間の横の部屋には床が窯変レンガタイル張で薪ストーブが来客をもてなす。一段上がるとプライベート空間で構造的に補強された空間を勾配天井とし一体感のある広い空間としている。  
 料理好きな家族が使いやすく集えるキッチンをとした。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

中途半端な玄関・ホールの使い勝手が悪く新しい使い方の提案を要求され、土足のまま使える土間空間として接客スペースとして活用されている。  
 また、室1は将来的に料理教室が出来よう要望があり、土間を挟んでプライベートな空間とは分離した計画とした。床の仕上げや薪ストーブが他の部屋との印象を大きく変える。

居住者（住まい手）の感想

風の通りが良く、光が入るようになり快適に過ごさせてもらっています。  
 土間はお友達からも評判がよく、子供の遊び場にもなっています。  
 また、キッチンを使い勝手がよく、広々としていて料理もはかどります。

データ

○所在地  ○築後年数  年 ○工事費  万円  
 ○敷地面積  m<sup>2</sup> ○建築面積  m<sup>2</sup>  
 ○居住者構成 総人数  人 / うち 15歳未満  人 / うち 65歳以上  人 / ペット   
 単独  夫婦のみ  夫婦+子  親+夫婦+子（三世代）  ひとり親+子  
 その他の親族（親族関係者のみ）  親族以外（シェア居住の場合など）  その他

○工事期間  日間 ○用途地域   
 ○リフォーム部分面積  m<sup>2</sup>  
 性能向上の特性  耐震性能  高齢者等への配慮（バリアフリー）  省エネルギー対策  
 防犯性能  維持管理対策  室内空気環境  その他（）

タイトル